



8 気仙沼市内の災害復旧箇所状況

気仙沼市



津谷川（気仙沼市本吉町中島地内）

付帯工事を施工中



大川（気仙沼市川口二丁目地内）

防潮堤を整備中



神山川（気仙沼市神山地内）

防潮堤を整備中



面瀬川（気仙沼市松崎片浜地内）

左岸下流部の樋門を整備中



1 災害復旧事業の進捗状況

- 災害復旧事業の道路・橋梁施設については、約99%が完了しています。
- 河川・海岸施設については、約87%が完了しています。
- 港湾施設については、全て完了しました。
- 今後も、地権者の皆様を始めとした関係者の皆様の御協力を頂きながら、復旧事業の全箇所の完成に向けて着実な進捗を図ってまいります。

箇所	◎箇所数ベース			完了率	◎事業費ベース				完了率
	全体	事業中	うち完了			全体	契約額	うち完了	
道路・橋梁	123	123	122	99.2%	141.4	129.3	129.0	91.4%	91.2%
河川・海岸	53	53	46	86.8%	2,274.7	2,134.9	2,015.5	93.9%	88.6%
港湾	11	11	11	100.0%	90.2	90.2	90.2	100.0%	100.0%
合計	187	187	179	95.7%	2,506.3	2,354.4	2,234.7	93.9%	89.2%

※事業費は、現時点での事業費としている

（令和3年12月末現在）

9 南三陸町内の災害復旧箇所状況

南三陸町



港川（南三陸町歌津字港地内）

国道45号の仮設橋梁を撤去中



伊里前川（南三陸町歌津字伊里前地内）

河川築堤盛土・被覆工を施工中



折立川（南三陸町戸倉地内）

築堤護岸を整備中

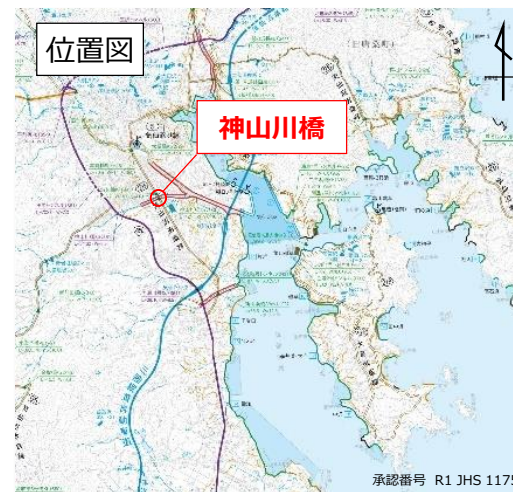


管内では引き続き復旧事業8箇所、復興事業1箇所です。いずれも工事は最終盤を迎えております。

地域の皆様には、今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。

2 主要地方道気仙沼唐桑線「神山川橋」の供用を開始しました。

主要地方道気仙沼唐桑線「神山川橋」については、被災した神山川堤防の嵩上げ復旧に伴い、橋の架替え工事を進めてまいりましたが、令和3年12月3日（金）に完成した神山川橋を供用開始しました。新しい神山川橋は、橋長がL=49.0m（旧橋L=42.1m）、総幅員はW=15.8m（旧橋W=9.8m）の中空合成床版形式の橋梁で、両側に歩道を整備したことにより、より安全・安心に通行いただけるようになりました。



※お気づきの点やご意見などがありましたら、何なりとご連絡下さい。
※今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

宮城県気仙沼土木事務所 企画担当チーム
〒988-0181

宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

TEL：0226-22-2622

Mail：ksdbk@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/

3 大谷地区海岸の復興事業が完了しました。

東日本大震災で大きな被害を受けた大谷地区海岸では、防潮堤と背後のまちづくりを含めた事業計画について地元・関係機関等と協議を重ね、平成29年7月に地元合意を得たことから、社会資本整備総合交付金（復興枠）を活用し、平成30年1月から防潮堤整備工事を進めてきました。

この工事では、防潮堤背後の国道45号を現位置で嵩上げし、背後地の利活用を踏まえた一体的な整備を行いました。（施工延長：防潮堤 L=677m、国道45号L=990m、計画高：TP+9.8m）

国道45号嵩上げにあたっては、令和元年7月の切り直し道路（迂回路）の供用以降、延べ7回にわたる道路切替を行い、令和3年4月7日に全線供用しました。

防潮堤は6月に完成し、6月20日に海開き、7月17日からは震災後11年ぶりに海水浴場がオープンとなりました。



4 国道284号線 山びこ大橋の耐震補強事業が完了しました。

気仙沼市下八瀬地内に架かる国道284号山びこ大橋では、復興事業として橋桁及び橋脚の耐震補強工事を令和元年9月から進め、令和3年6月に完成しました。この路線は第1次緊急輸送道路に指定されており、災害時の避難、救助、物資供給などへ寄与することが期待されます。



5 高井浜大向地先海岸の災害復旧事業が完了しました。

気仙沼市大島に位置する高井浜大向地先海岸復旧事業では、延長L=1,136m、L1堤防（TP+7.0m）の整備及び原形復旧を行ってまいりました。大きく高井地区と大向地区の2地区に分割され、平成26年に工事を開始し地元漁業者様の協力の下、令和3年12月に完了しました。



6 青野沢川の河川災害復旧事業が完了しました。

気仙沼市唐桑半島に位置する青野沢川復旧事業は、平成26年に始まり、延長L=1,730m、下流側は計画高TP+8.0m、上流側は計画高TP+7.2mとし、国道45号復旧事業をはじめ、三陸沿岸道路事業、漁集事業、農地復旧事業、市道、普通河川復旧事業など多岐に渡る関係機関との密な調整を行い、整備を進め、令和3年12月に完成しました。



7 亀山磯草地先海岸の災害復旧事業が完了しました。

大島の外浜地区の防潮堤災害復旧工事では、平成27年から延長L=450m、計画高TP+7.0mで整備を行い、地元・関係機関と協議を重ねながら工事を進め、令和3年12月に完成しました。併せて、遠隔化陸間も整備し、令和3年12月から供用を開始しております。

